# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報

平成30年 1月 29日発表
担当課:危機管理室

事業の名称等

## 平成29年度　熊谷駅周辺帰宅困難者対策訓練

[熊谷市主要駅帰宅困難者対策協議会]

1. 日時

平成３０年２月２１日（水）１０時００分～１１時５０分
【雨天決行、降雪等の荒天時・災害時は中止】

2. 場所

JR熊谷駅～桜木小学校体育館

3. 事業概要

【目　的】
　Ｍ８.１の地震発生を想定した帰宅困難者対策訓練を熊谷駅周辺で実施することにより、現状の課題を抽出し、今後の活動の改善に反映させることを目的とする。
　協議会初の訓練となる今回は、帰宅困難者役も含め、構成員が実地で体験することで、帰宅困難者対策の基本的な流れを把握します。

【内　容】
**○啓発チラシの配付（１０時～１０時２０分）**※熊谷市長・市ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ「ニャオざね」参加
訓練開始前には一斉帰宅抑制を呼びかけるチラシを参加者全員で駅利用客（北口、南口、ティアラ口）に配付する。

**●避難誘導訓練（１０時３０分）**
地震発生後、駅構内からの一時避難、安全確認及び状況説明を行い、駅南口へ誘導する。
**●「総合案内所」開設訓練（１０時５０分）**
駅南口で帰宅困難者に周辺地図と乾パン等の物資を支給し、「帰宅困難者待機場所」となる桜木小学校へ案内・誘導する。
**●「帰宅困難者待機場所」開設・受入訓練（１１時～１１時５０分）**
駅から４００m離れた桜木小学校に移動し、帰宅困難者の受入れと物資支給を行い、参加者を対象に備蓄品の解説等を行う。
**●ツイッター・駅デジタルサイネージ広報訓練（随時）**
訓練の進行に連動して「駅へ殺到しないでください」等の広報をリアルタイムで発信する。

4. 特徴やPRポイント

・駅周辺の商業施設・宿泊施設等の参加者が「帰宅困難者役」、駅事業者、県、市が「誘導役」となり、実際に駅周辺のルートを歩き、災害時の誘導に問題点がないかを検証する。
・1/22大雪時にも市と駅事業者で連携を図り、必要な場合には帰宅困難者待機場所が開設できるように事前準備を行ったところである（実際には開設不要であった）。

5. その他

【　主　　催　】熊谷市主要駅帰宅困難者対策協議会
【協議会構成員】ＪＲ熊谷駅、ＪＲ籠原駅、秩父鉄道熊谷駅、キングアンバサダーホテル熊谷
スマイルホテル熊谷、ホテルサンルート熊谷駅前、マロウドイン熊谷
ホテルシティーフィールドかごはら、アズ熊谷、ティアラ２１
ショッピングセンター　ニットーモール、熊谷商工会議所、熊谷警察署
(公財)熊谷市文化振興財団、埼玉県(消防防災課・北部地域振興センター)
熊谷市
【　参 加 者　】同協議会構成員、県内各帰宅困難者対策協議会事務局　約４０名

---

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　危機管理室　松村　共晃、青木　文夫
連絡先　048-524-1111 内線333

# 平成２９年度　熊谷駅周辺帰宅困難者対策訓練実施要領

## 【目的】

災害時を想定し、熊谷駅の特性に対応した駅周辺における帰宅困難者対策訓練を実施することにより、現状の課題を抽出し、今後の活動の改善に反映させることを目的とする。

また、本協議会初の訓練となるため、帰宅困難者役等を実地で体験することを通じて、構成員が帰宅困難者対策の基本的な流れを把握することを目的とする。

## 【熊谷駅の特性】※平成２９年度第２回協議会『資料１　熊谷市主要利用客の「属性」について』より

**平　時**

1　流入・流出者ともに**「近隣市から」「近隣市へ」**が多い
2　熊谷駅までの交通手段は**「自転車・徒歩」**が６割強

**災害時**

1　大勢の**「徒歩帰宅者」**発生
2　駅周辺に**「送迎車」**が殺到

## 【訓練内容について】

今年度は上記「熊谷駅の特性」に対応した項目に限定して訓練を実施。
その他の対策については、来年度以降の訓練項目として検討する。

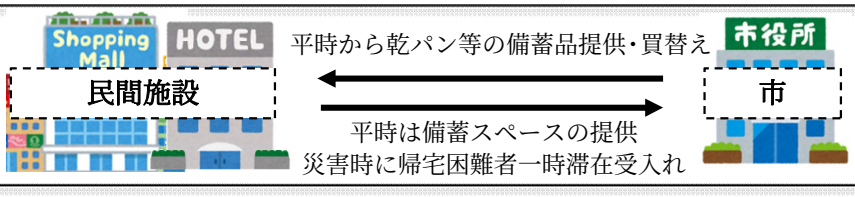
**平成２９年度訓練**

1　**「徒歩帰宅者」対策**
　**「帰宅断念者」の待機場所（桜木小）への誘導・受入れ**
2　**駅周辺に殺到しないよう市民への広報**

**平成３０年度以降の訓練で検討**

（例）・構成員間の情報収集・伝達（駅の混雑・運行状況、被災状況、施設の受入れ可能数等）
　　・民間施設での帰宅困難者受入れ（乾パン・水等の物資支給等）

**（参考）今後検討が必要な事業**




## 【訓練日程、場所】

■日　程：平成３０年２月２１日（水）１０時～１１時５０分（受付９時３０分開始）
※雨天決行、荒天（積雪等）及び災害時は中止

■場　所：JR 熊谷駅構内・南口（１０時～１１時００分）
↓（徒歩移動　約１０分）
桜木小学校体育館（１１時１０分～１１時５０分）

【参加機関】

本協議会構成員、県内各帰宅困難者協議会（※県を通じて参加希望の確認）

**計４０人程度を想定**

【訓練想定】

■**発災想定日時**：平成３０年２月２１日（水）１０時３０分

■**震　　源**：関東平野北西縁断層帯地震　Ｍ８．１（熊谷市内では震度７）

■**被 害 想 定**：

① 熊谷駅には複数の車両が緊急停車しているが、死傷者は発生していない。

② ＪＲ及び秩父鉄道は運転を見合わせており、運転再開の見込みは未定である。

③ 駅周辺の建物から避難した人々が駅周辺等で滞留しており、帰宅困難者も多数確認されている。

④ 一般電話や携帯電話は通信規制され、非常につながりにくい状況となっており、携帯電話のメールについては、送受信可能であるものの遅延している状況である。

【訓練の流れ】

９時３０分　受付開始

１０時００分　熊谷駅でのチラシ配布（熊谷市長、ゆるキャラ「ニャオざね」も参加）

１０時３０分　訓練開始

１０時５０分　熊谷駅南口に総合案内所を開設

１１時００分　熊谷駅から帰宅困難者待機場所（桜木小学校）へ移動

１１時１０分　帰宅困難者待機場所（桜木小学校）での受入訓練・市職員の防災講演

１１時５０分　解散

【移動ルート】

別紙「訓練中の主な動き」を参照

# 熊谷駅周辺帰宅困難者対策訓練

# 訓練中の主な動き

ツイッター・
駅デジタルサイネージ広報訓練
（市役所内で入力）

市広報広聴課が、市公式ツイッター・駅改札前デジタルサイネージを利用して「訓練開始・終了」「駅へ殺到しないでください」等をリアルタイムで広報する。

## 訓練中の主な動き

9：30～　参加者受付開始

10：00～　駅構内でのチラシ配布

10：30～　訓練開始

1　駅構内安全確認のため
熊谷駅北口の階段下スペースに一時避難

2　駅構内安全確認後、駅の待機スペースに戻り、被害状況等の説明を受ける

10：50　熊谷駅南口に総合案内所を開設

3　徒歩帰宅者・帰宅断念者は総合案内所で情報提供・物資支給を受ける。

11：00　帰宅困難者待機場所（桜木小体育館）開設

4　（徒歩帰宅者）・帰宅断念者は桜木小学校へ移動する。※本来、徒歩帰宅者は自宅へ向かうこととなる

11：10　桜木小体育館で物資支給・市職員による防災啓発講演を受け、アンケートを記入

11：50　訓練終了、解散